

集落営農組織化効果試算シート

【1 成果概要】

- 集落営農を実施した場合の効果を試算できるソフト。
- 操作は簡単。集落全体や農家毎の収支、労働時間等の変化等、組織化による作業効率化やコスト削減状況を、グラフや試算表でわかりやすく表示します。

操作は簡単。
集落営農実践
の効果が一目
でわかるソフト
です！

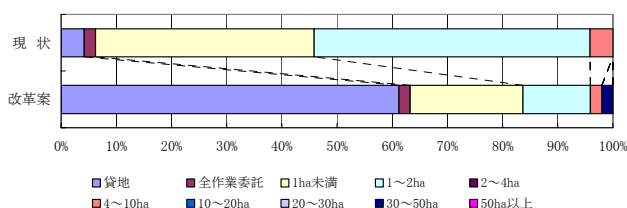


【2 操作手順と試算結果の表示例】

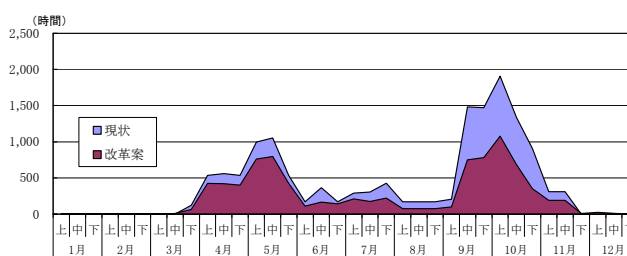
操作手順は、まず、集落の水田面積、農家戸数を入力。次に、集落農家の「現状」の土地利用状況、組織化後の「改革案」を入力するだけです(図1)。

規模別経営体の構成比、労働時間の削減状況、コスト削減効果等がグラフや表で表示されます(図2)。

【農家経営形態別構成比】



【対象集落(地域)全体の旬別労働時間】



①基本情報の設定(メインシート)

集落名、水田面積、農家戸数

収量・販売単価、地代、作業料金の変更

(地域の実態に合わせて必要に応じ変更)

②農家毎の現状の土地利用状況の入力(現状シート)

所有水田面積、水田貸借の状況、水稻・麦・大豆の作付面積、受委託面積

③農家毎の組織化後の経営計画の入力(改革案シート)

集落営農組織化後の農家毎の経営状況を入力(入力項目は②に同じ)。

④試算結果の閲覧

- ・試算概要表、グラフ(現状と改革案の比較)
- ・個別農家(組織)別経営概要・収支等集計表(現状、改革案)
- ・経営面積階層別経営概要・収支等集計表

図1 シートの利用手順

【対象集落(地域)全体の収支・所得等の変化】

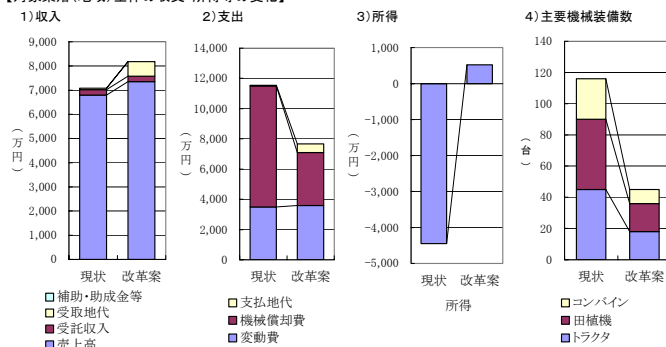


図2 試算結果の表示例(メインシートのグラフ)

【3 留意事項】

利用には、Microsoft Excel2000 以上が必要です。

【4 適応対象及び利用場面】

集落コーディネーター等集落営農推進指導者が、得られた試算結果を座談会等で示すことで、組織化に向けた合意形成の促進が図られます。

【5 ソフトの入手方法】

- (1) 最寄りの農業改良普及センターまたは農業研究センターにおいて無償で入手することができます。
- (2) お求めの際は、未使用(空)のCD-R及び印鑑をご持参ください。
- (3) 使用許諾書(農業研究センターHPから入手可能)に同意する必要があります。